

大阪府感染症発生動向調査週報（速報）

2019年 第11週（3月11日～3月17日）

今週のコメント

～RSウイルス感染症～咳エチケット、手洗い、マスクの着用が重要

定点把握感染症

「RSウイルス感染症 増加続く」

第11週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は 2,587 例であり、前週比 0.1%減であった。定点あたり報告数の第 1 位は感染性胃腸炎で以下、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、伝染性紅斑の順で、定点あたり報告数はそれぞれ 7.06、2.69、1.15、0.48、0.40 であった。

感染性胃腸炎は前週比ほぼ不変の1,405例で、南河内10.69、泉州9.90、中河内8.45、豊能8.14、大阪市北部7.07である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は 9%減の536例で、南河内5.13、中河内3.65、北河内3.37、堺市3.16、泉州2.57であった。

RSウイルス感染症は 1%増の228例で、北河内1.82、大阪市北部1.71、大阪市南部1.61、中河内1.55、大阪市西部1.40である。

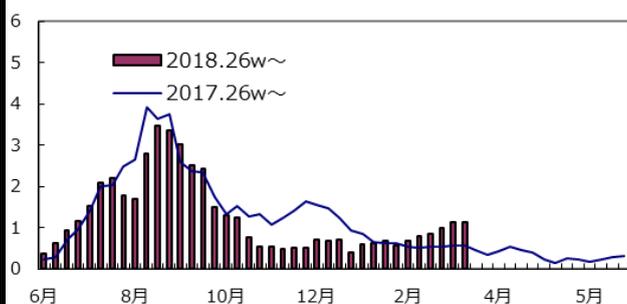
咽頭結膜熱は 34%増の95例で、中河内1.55、泉州0.62、北河内0.59であった。

伝染性紅斑は 4%減の80例で、豊能0.68、中河内0.60、北河内0.59である。

インフルエンザは42%減の559例で定点あたり報告数は1.85である。南河内4.71、泉州 2.12、豊能 2.03、大阪市西部 1.87 であった。

RSウイルス感染症

(定点あたりの報告数)



感染性胃腸炎

(定点あたりの報告数)

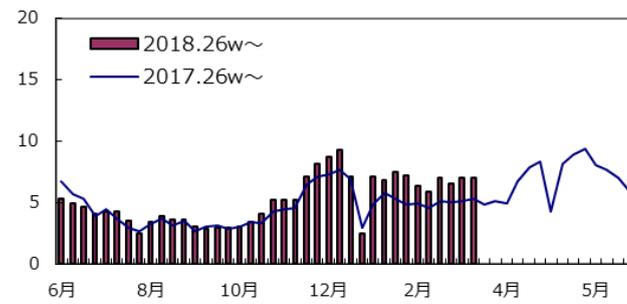


表 1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2019年 第11週3月11日～3月17日）

第11週の順位	第10週の順位	感染症	2019年 第11週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2018年 第11週の 定点あたり 報告数	2019年第11週の 年齢別 患者発生数 最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	7.06	増減なし	5.32	1歳_13%
2	2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.69	9%減	1.95	6歳_14%
3	3	RSウイルス感染症	1.15	1%増	0.57	1歳_36%
4	5	咽頭結膜熱	0.48	34%増	0.21	1歳_20%
5	4	伝染性紅斑	0.40	4%減	0.02	7歳_18%
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告疾患)	1.85	42%減	6.16	20歳以上_26%

第11週のコメント

～侵襲性髄膜炎菌感染症～ 大阪府では、毎年2-4例の報告があります。

全数把握感染症													
侵襲性髄膜炎菌感染症													
<p>侵襲性髄膜炎菌感染症は、髄膜炎菌 (<i>Neisseria meningitidis</i>) による侵襲性の感染症である。潜伏期は通常2～10日で、髄膜炎例では頭痛、発熱、髄膜刺激症状、痙攣、意識障害を示し、敗血症例では発熱、悪寒、ショック、播種性血管内凝固症候群 (DIC) を呈する。髄膜炎ベルト (meningitis belt) とよばれるアフリカ中央部で発生が多く、日本では、学生寮等で集団発生の報告がある。治療には、ペニシリン系抗菌薬と第三世代セフェム系抗菌薬が有効である。患者との接触者には、緊急に、リファンピシンの予防投与が行われる。日本では、2015年より、4価髄膜炎菌 (血清型A、C、Y、W-135) ワクチンの任意接種が開始されている。</p> <p>感染症疫学センターはこちらへ(外部リンク)</p>	<p>(報告数)</p> <table border="1"> <caption>侵襲性髄膜炎菌感染症の報告数 (2015-2019)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>報告数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2015</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>2016</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>2017</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>2018</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>2019</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	年	報告数	2015	2	2016	3	2017	3	2018	4	2019	3
年	報告数												
2015	2												
2016	3												
2017	3												
2018	4												
2019	3												

表2. 大阪府全数報告数 (2019年 第11週3月11日～3月17日)

*) 注意 : この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります

疾患名	報告数	府内市町村								府内累積報告数
		豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	
3 類感染症	報告はありません									
4 類感染症	レジオネラ症 (肺炎型)									
	3	1		1					1	9
5 類感染症	アメーバ赤痢									
	2				1	1				10
	クロイツフェルト・ヤコブ病									
	1								1	1
	後天性免疫不全症候群									
	2								2	23
	侵襲性髄膜炎菌感染症									
	1						1			3
侵襲性肺炎球菌感染症										
5		1	2					2	57	
梅毒										
15			1	2	1	1		10	219	
百日咳										
12	1	1	1	1	3		1	4	216	
風しん										
3		1			1			1	87	
麻しん										
2							1	1	109	
結核 (2019年1月分)	結核 新登録患者数 : 136名 (内 肺・喀痰塗抹陽性 53名) (府内累積報告数 136名、内 肺・喀痰塗抹陽性 53名)									

(2019年3月19日 集計分)